

4 子どもを支える環境づくり

(1) 「ながの子ども・子育て応援総合計画」の推進

少子化の要因が結婚、出産、育児、教育、就業環境などライフステージ全般に及ぶ中で、子育てに対する不安・負担の解消や、子育てと仕事の両立などの課題に対応しつつ、社会全体で安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組むため、平成 27 年 3 月に策定した「ながの子ども・子育て応援総合計画」により総合的な推進を図った。

(2) チャイルドライン支援事業

「長野県チャイルドライン推進協議会」の運営を支援した。

電話番号は全国共通フリーダイヤル 0120-99-7777

○「チャイルドラインながの」の実施状況

- ・ 受付時間： 毎週月・水曜日
午後 4 時～午後 9 時
- ・ 受付状況： 3,589 件（実施日数 98 日）

○「チャイルドラインすわ」の実施状況

- ・ 受付時間： 毎週火・金曜日 午後 4 時～午後 9 時
- ・ 受付状況： 3,204 件（実施日数 104 日）

○「チャイルドラインうえだ」の実施状況

- ・ 受付時間： 毎週水・木曜日
午後 4 時～午後 9 時
- ・ 受付状況： 3,654 件（実施日数 74 日）

○「チャイルドライン佐久」の実施状況

- ・ 受付時間： 毎週土曜日
午後 4 時～午後 9 時
- ・ 受付状況： 3,677 件（実施日数 50 日）

※毎週金曜日は、持ち回りで午後 11 時まで受付

(3) 子ども支援センター運営事業

子どもが抱えるいじめ、体罰等の悩みのほか、保護者が抱える育児や子育ての悩みなど、子どもに関する様々な悩みに幅広く対応する相談窓口を運営した。

ア 相談業務

悩みを抱える子ども等から、電話やメール、面接により様々な相談を受け、子どもが直面している不当な差別、いじめ、体罰、虐待等の人権侵害から救済につなげるための相談、調査調整活動を行った。

| | | いじめ | 体罰 | 虐待 | 不登校 | 学校関係 | 交友関係 | 思春期 | 家族 | その他 | 子育て | 計 |
|------|-----|-----|----|----|-----|------|------|-----|----|-----|-----|-----|
| 児童本人 | 幼 児 | | | | | | | | 1 | | - | 1 |
| | 小学生 | 15 | | 2 | 1 | 12 | 27 | 4 | 11 | 10 | - | 83 |
| | 中学生 | 10 | | 3 | 9 | 28 | 18 | 17 | 10 | 17 | - | 112 |
| | 高校生 | 6 | | 1 | 4 | 16 | 13 | 9 | 10 | 15 | - | 75 |
| | 不明 | 2 | | 3 | 1 | 12 | 19 | 14 | 6 | 84 | - | 146 |
| 小計 | | 33 | 0 | 9 | 15 | 68 | 77 | 44 | 38 | 126 | - | 417 |
| 家族等 | | 30 | 3 | 5 | 31 | 78 | 12 | 4 | 20 | 121 | 105 | 411 |
| 合計 | | 63 | 3 | 14 | 46 | 146 | 89 | 48 | 58 | 247 | 105 | 828 |

イ 長野県子ども支援委員会

いじめ、体罰等の人権侵害から子どもを救済する「子ども支援委員会」を次のとおり開催した。(計6回)

なお、人権侵害に係る救済申出があった場合は、事案に対する調査審議を行う。(平成28年度は0件)

| | |
|------|---|
| 委 員 | 児童精神科医、弁護士、臨床心理士、民間活動団体代表、児童福祉専門家 |
| 会議事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援センター及び学校生活相談センターの相談状況 ・相談事案の協議 ・子ども支援センターの活動に関する助言等 ・子どもを性被害から守る条例 ・性暴力被害者支援センター「りんどうハートながの」等 |

ウ 関係機関との連携

県内の民間団体を含めた、子ども相談窓口等関係者からなる情報交換の場を設け、関係機関相互の連携協力、関係職員の資質向上のための研修を行った。

| | |
|-------|--|
| 研 修 会 | 講演「子どもの性はグラデーション」 参加者：NPO団体、市町村の家庭児童相談員等 計47名 |
| 連絡会議 | 事例報告・意見交換 参加者：NPO団体、市町村の家庭児童相談員等 計22名 |